

働く人の声を届けます

【山形労働局】

仕事の魅力発信!

「保育」の仕事について、どんなイメージを持っていますか？
チャレンジしてみたいけれど、実態がわからなくて不安…、
という方も多いのではないのでしょうか？
そこで、実際に「保育」の現場で働いている方々にお話を伺いました。
現場のリアルな声を通して、「保育」の仕事の魅力をお伝えします。

保育

Nursery workers
Real Voice!

看護師として関わる保育の現場。 人生が豊かになりました。

おひさま保育園
看護師(5年目)



保育園の看護師として園内の衛生管理、園児の健康観察や怪我の処置、保護者の健康相談対応などを行っています。保育士の資格はならず、看護師の資格だけで働くことができました。以前は総合病院に勤務し小児科も担当しましたが、小児科と保育園は想像以上に違う仕事でした。園児と長く関係を築く中で、看護師というよりは保育士さんのように接してくれたり、懐いてくれたり。病院とは違う楽しさがあります。

看護師は一人なので責任は大きいですが、保育士をはじめ看護師、事務員、調理師など、違う職種でもサポートしあって皆で保育をしているので、働きやすい環境です。子どもと関り、色々な家族を知り、更に保育に一生懸命な園長先生や先生方を見て、「子どもを預かるだけが保育ではない」と知りました。ここにきて人生が豊かになったと感じています。知識以上に経験が必要な仕事。今後はいろんな経験を重ねて自信をつけて、保護者の方の悩みにも細やかにアドバイスできる看護師になりたいです。

母と保育士の両立！ 仕事柄、育児に理解ある環境。

道形保育園
保育士(12年目)

保育園で保育士をしています。今年度は1歳児を担当し、遊びや活動、給食、お昼寝など園児を見守りながら様々なサポートをしています。1歳はちょうど言葉を覚え初める時期で、子どもの言い間違いを聞いているのも楽しいです。こうした著しい成長を見守ったり、親御さんとその喜びを共有できるのが嬉しい！日々アイデアを出しながら仕事をしています。

5年前前に産休を利用し出産、育児と両立して働いています。周りも子育てしながら働いている先生が多く、仕事柄育児に理解ある方ばかりなので、「お互い様」の精神でフォローしあえる環境です。母と保育士は別物だなとは感じますが、保育士としての知識や経験を子育てに活かせるし、夫にもアドバイスしやすいです。逆に保育士の仕事現場で、自分の子育ての経験を照らし合わせて対応できることもあります。

子どもの頃からずっと憧れていた保育士。大変なこともありましたが、トータルで見るとそれ以上に楽しいことのほうが多かったです！



仕事の魅力発信!

Nursery workers
Real Voice!

保育

子どもの成長を身近で見られる、 それが一番のやりがいです。

道形保育園

保育士(2年目)



保育士を目指したのは、小学生の頃に保育園で経験したボランティア活動がきっかけです。高校、短大で保育を学び、保育士に。実習と違ったのは、子ども一人ひとりに個人差があり、成長の過程も全然違うという事。はじめは保護者対応にも苦戦しましたが、ベテランの先生方からアドバイスを頂きながら覚えていきました。先輩方は気軽に話しやすく面白いばかりで、上手くできた部分を褒めてくれたり、相談しやすい環境を作って頂いていると感じます。系列保育園の同期と一緒に研修を受けたり、情報交換、勉強会の機会もありましたし、会議でも年齢関係なく気兼ねなく自分の意見を言うことができます。園長先生も、若い先生の事も気にかけて話しかけて下さるのでありがたいです。

やりがいは、何より子どもの成長過程の大切な時期に関わり、成長を身近で見られること。ハイハイしていた子ども達が喋れるようになり、自分の名前を呼んでくれた時はとても感動しました。また、自分が考えた遊びを園児が楽しそうに遊んでくれると嬉しいです。冬は雪遊び、秋は落ち葉遊びなど、季節に合わせた遊びを考えています。子どもの年齢によって対応の仕方も全然違うので、今後はどの年齢の子でもうまく対応できるような保育士を目指していきたいと思います。

職場としても保育園としても、 居心地の良さを追求したい。

おひさま保育園

園長(22年目)

園長として、保育園を円滑に運営するため、安心して園児をお預かりするため、日々改善策を模索しています。初めての子育てで様々な悩みを抱える保護者の方々に寄り添い支援するのも我々の仕事です。私も若い頃は、思うような保育ができず悩んでいた時期もありました。当時の園長や上司が私の悩みも弱みもありのまま全て受け止め、見守り励ましてくれたおかげで続けてこれました。今度は園長として、自分が皆のために居心地の良い職場を作れるよう頑張っています。国を挙げての保育士の処遇改善もありますが、園としても残業させない環境作りを心がけています。

保育観も変化し、「させる保育」から「寄り添う保育」へ、子どもがあまりのままでいられるように、こちらが見守り歩み寄り保育になってきました。時代錯誤にならないよう、研修を重ねて時代に合わせた保育をしていく必要があります。当園は乳幼児に特化した保育園ですが、今後は少子化もあり、園がそれぞれ工夫して多様な運営をしていく必要があると感じています。保育者が心地良い環境であれば、豊かな保育に繋がると 생각합니다。子どもや保護者、職員に寄り添い、皆さんに「この園でよかった」と言っていただくと本当に嬉しいです。これからまだまだ、居心地の良さを皆で追求していきたいです。

